科目ナンバリング							
授業科目名<英訳>	ロシア語II B R252 Intermediate Russian B			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 服部 文昭		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金4	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

（文法の仕上がっている諸君を対象に）文学作品を読む力を養う：
これまでにロシア語 I、II で学んだロシア語を活かして、ロシア文学の原典に取り組んでゆく。

[到達目標]

知的鍛錬・教養の向上を念頭に置きつつ、読解力を高め、専門領域でのある程度の情報収集能力を身につけることを目指す。

[授業計画と内容]

チェーホフやイワン・ブーニン（ノーベル賞作家）の作品を精読する。
受講する学生諸君のレベルによっては、19世紀前半の作家の短編にも取り組んでみたいと考えている。

まずは、アントン・チェーホフの短編『恋について』を取り上げる。
『恋について』は、1898年の発表である。ともに同年の発表の『箱に入った男』、『すぐり』との三部作の三番目の作品である。ある地主貴族の恋の物語を通して、当時の民衆の状態、農村の窮状、そのようなことに対する知識階級の態度などを読み取り、ロシアの文化や社会への理解を深めてゆきたい。

実際の授業では、テキストをブロックに分割し、受講生諸君に割り当てて、精読をする。したがって、丹念な予習が求められる。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点（５０%）と期末試験（５０%）の総合評価。課題の単なる正誤ではなく、取り組み方が真摯なものか等も評価する。

[教科書]

プリント配布。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業の進行に合わせて、教室で指示する。

[その他（オフィスアワー等）]

授業に積極的に参加すること。予習は必須である。